



平成 28 年 10 月 6 日

各 位

会 社 名 テクマトリックス株式会社
代表者名 代表取締役社長 由利 孝
(コード：3762、東証第一部)
問合せ先 執行役員管理本部長 森脇 喜生
(TEL. 03-4405-7802)

病理専門医の遠隔からのコンサルテーション業務を 支援するプラットフォームサービスの提供を開始

当社は、ソフトバンク株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 兼 CEO：宮内 謙、以下ソフトバンク）と提携し（子会社の合同会社医知悟が開発した専用通信機器『iCOMBOX』を用いた）遠隔病理プラットフォームの提供を開始しましたので、添付の通りお知らせします。

「遠隔病理プラットフォーム」は、深刻な病理医不足を解消するため、医療機関と遠隔地の病理医をネットワークで接続することで、病理コンサルテーション業務が行える環境を提供します。医療機関は「iCOMBOX」を設置するだけで複雑な設定が不要です。常勤病理医不在の医療機関においても、臨床医は高度なスキルを持った病理医からのコンサルテーションを簡単に受けることができますようになります。

当社は、ソフトバンクとの提携により、「遠隔病理プラットフォーム」のサービス提供を 2016 年 10 月より開始し、2017 年度に医療機関 60 施設でご利用いただくことを目指しています。

以 上

2016年10月6日

報道関係者各位

テクマトリックス株式会社
(東証一部 / 証券コード: 3762)

病理専門医の遠隔からのコンサルテーション業務を 支援するプラットフォームサービスを提供

テクマトリックス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：由利 孝、以下「当社」）は、当社子会社である合同会社医知悟が開発した技術をベースとして、ソフトバンク株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 兼 CEO：宮内 謙、以下「ソフトバンク」）と提携し、病理専門医による遠隔診断・コンサルテーションを支援する「遠隔病理プラットフォームサービス」（以下「本サービス」）を2016年10月から提供開始します。

上記に併せ当社は2015年5月に中国北京に設立した合弁会社である北京ヘルステック医療情報技術有限公司を通じて、中国国内での遠隔病理診断ネットワークの構築支援を対象とした提携契約を、北京大学と締結しました。同契約には中国国内の病理ネットワークと、北京大学に集積された難解症例について、日本、米国の大学等の専門医療機関に連携する、国際病理コンサルテーションネットワークの構築支援が含まれます。

患者から採取された病変組織および細胞を顕微鏡で観察し、病状を判断する病理診断を行う専門医（以下「病理医」）は現在日本国内に約2,300名のみです。そのため多くの医療機関では、常勤病理医不在という深刻な問題に直面しています。その一方で、医療機器やICT技術の発達により顕微鏡の画像のデジタル化、データ伝送の仕組みなどを用いることで、遠隔地にいる病理医に相談し専門性の高い判断を受けられるシステム環境の整備が進んでいます。

医知悟のシステムは、放射線領域を対象に2008年からサービスを開始しており、現在月間平均で18万検査を専門医のいない医療機関から、放射線画像診断の専門医に送信しており、国内でもトップクラスの実績を有します。医知悟では新たに病理分野に着目した技術開発を継続してきました。病理画像に固有の大容量データの高速な送受信、またメーカー毎にばらばらのデータ形式を統一の方法で送受信する技術開発を行い、病理対応版のシステムをリリースしています。

本サービスは、遠隔画像診断用の専用通信機器「iCOMBOX」を用い、医療機関同士がネットワークを介して連携することで、病理診断の対象となる画像や臨床背景情報を共有して、地域での病理コンサルテーション連携を実現します。さらに疑義照会や、医療機関間でのコンサルテーション報酬精算など、さまざまな業務支援機能を提供するプラットフォームサービスです。

医療機関は「iCOMBOX」を設置するだけで複雑な設定を行うことなく、大容量病理画像を相手先に安全に送信し、受診側の医師は院内データと同等の速度で病理画像を参照することが可能となります。病理医不在の医療機関の臨床医師は、本サービスを利用することで、高度な専門性を持つ病理医からのコンサルテーションを受けることが可能になります。また病理専門医は連携病院への出張や事務的な業務負荷が軽減され、地域の医療機関との効率的な連携が可能になります。

上記の提携により、当社（及び医知悟）は主に継続的な機能開発や技術サポートを担当し、ソフトバンクは顧客医療機関へのサービス販売、導入、運用支援を担当します。

■ サービス概要

1. 特長

- (1) 「iCOMBOX」の設置により医療機関間の連携システムを容易に構築することが可能です。オリジナル画像の転送により、コンサルテーション受信側の施設でも高速で確実な画像参照が可能です。
- (2) 各社のバーチャルスライド装置※（病理画像デジタル化装置）に対応しています。依頼施設ごとに異なるデータ形式を統合的に管理対応することが可能になります。
※個別の機器対応状況についてはお問い合わせください。
- (3) VPN通信※他、様々なセキュリティ対応により、安全な環境下で遠隔病理連携を実現しています。
※ブロードバンド環境はお客さままでご用意いただきます。

2. 利用分野

- (1) 保健医療機関間連携のインフラとして
 - (2) ひとり病理医の相互支援システムとして
 - (3) より高度な専門性（特定部位／臓器別等）への相互連携
 - (4) 希少症例の地域の共有など
- ※同様の技術は専門医師不足という課題への解決策の1つとしても期待されています。

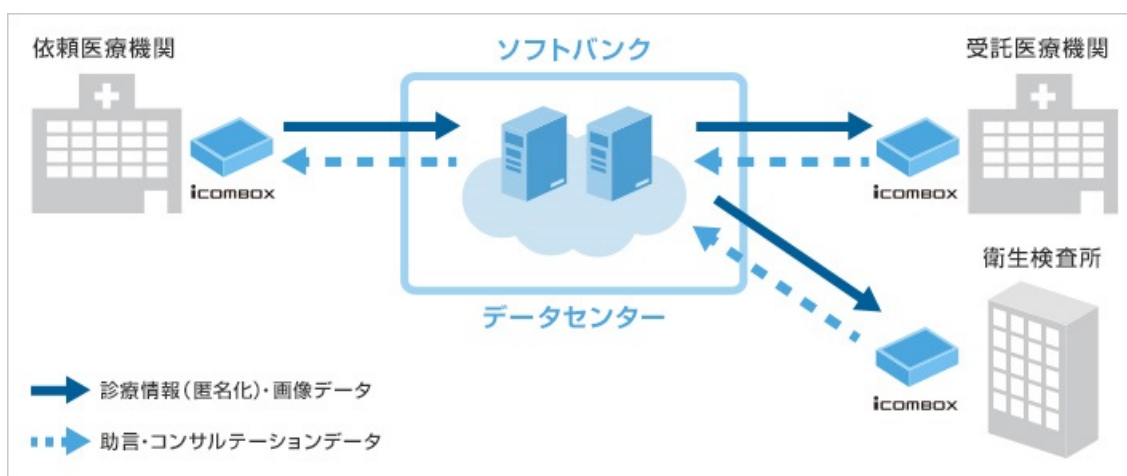
3. 提供機能

- (1) 画像閲覧機能
- (2) 電子的診療情報提供書・レポート機能
- (3) 連携実績統計の集計（依頼件数統計、医師単位での件数集計）
- (4) 2次判断者への転送処理
- (5) 依頼の進捗確認機能（未送信、診断待ち、診断済、等ステータスの確認）
- (6) 疑義照会サポート、メッセージング機能
- (7) 部門システム連携機能（XML、CSV）

4. 提供価格（税抜き）

- 初期費用 : 50万円（登録費用、「iCOMBOX」設置費用含む）
 月額費用 : 1万円（「iCOMBOX」利用料）
 プラットフォーム使用料 : 600円／依頼

5. 概要イメージ



■ソフトバンク株式会社について

代表者：代表取締役社長 兼 CEO 宮内 謙

所在地：東京都港区東新橋1-9-1

資本金：1,772億5,100万円

事業内容： 移動通信サービスの提供、携帯端末の販売、固定通信サービスの提供、
インターネット接続サービスの提供

URL：<http://www.softbank.jp/corp/group/sbtm/>

■テクマトリックス株式会社について

代表者：代表取締役社長 由利 孝

所在地：東京都港区三田3-11-24

資本金：12億9,812万円

事業内容： クラウドコンピューティング時代に技術革新をもたらす情報基盤技術のインテグレーション、
を提供する「情報基盤事業」と、ソフトウェア技術を駆使し顧客の抱える問題領域におけるベストプラクティ
スを実装したアプリケーションの提供を行なう「アプリケーション・サービス事業」を提供しております。

URL：<http://www.techmatrix.co.jp/index.html>

●記載されている社名、製品名などは、各社の商標または登録商標です。

【本件に関する報道機関からのお問合せ先】

合同会社医知悟 Tel：03-4405-7862

テクマトリックス株式会社 Tel：03-4405-7800